

江工関東遊歩クラブの皆様へ

H 2 3 . 6 . 中旬

前略

大震災・原子力発電災害の対応、復旧の予定、計画展望も未だに見えてきませんが、会員の皆様に於かれましては、お変わりなくお暮らしの事と思います。

さて、今回の野山散策は、当初予定していた草津白根「芳ヶ平」ハイキングが、例年に比べて登山道に残雪が多く有るとの事で、群馬県の沼田より北に 25k m に位置する玉原高原に変更しました。梅雨入りが例年より 1 4 日も早まり、天気が危ぶまれましたが、当日は 2 日間とも梅雨の中休となり、良い天気に恵まれました。

6 / 4 (土) 早朝 7 : 2 0 上野発の「特急草津一号」にて高崎乗換え水上行普通列車にて沼田下車し、ペンションの車 2 台に分乗して 4 5 分で玉原高原センターハウスに到着しました。リュックを背負い、清々しい新緑のなかを歩き始めると、ブナ林より、エゾハルゼミの大合唱、カッコーが澄切った声でお出迎え。木道を歩き玉原湿原に入ると、少し時期の過ぎた「ミズバショウ」の白い花と緑の葉のコントラストが眩しい。可憐な 6 枚の花弁のタムシバ(ニオイコブシ)・赤紫の「ムラサキヤシオ」を眺め、ブナの森の登山道に入ると、ブナ・トチノ木・ミズナラ・ホオノ木・シラカバの新緑と木洩れ日が眩しい。梢では、ウグイスが谷渡り、キツツキが幹を突く音を響かせるなかを 8 0 分で尼が禿山山頂に到着。残雪の皇海山・武尊山・谷川岳・朝日岳・平ヶ岳・赤城山・日光白根山の大眺望眼下に玉原湖が望め、感動しました。

昼食と休憩を十分にとり、来た道に戻り 2 時間 3 0 分でペンションに到着。早速お風呂をいただき、温泉ではありませんが、1.5 坪の大浴場でゆったりと疲れを取りました。夕食はお肉のコースでしたが、サービスで出していただいた庭で取れた山菜の天ぷらは絶品でした。古里の話から近況健康震災原発政治の話題で、あつと言う間に時は過ぎてしまいました。

6 / 5 (日) 8 : 3 0 に宿を出発。なだらかなブナ林の明るい森の道を、小鳥やエゾハルゼミの合唱を聞きながら、6 0 分で玉原湖畔に降り、サイクリングロード伝いに湖を 6 0 分で周囲の山々を眺めながら一周。宿の車で沼田駅まで送ってもらい、駅前のそば屋にてビールで乾杯、十割そばを頂き、再会の約束をかわし、列車に乗り帰路につきました。帰りは特急との時間が合わず、普通列車の為皆さん腰とお尻を痛くされた事と思います。

次回は今回断念した「草津白根山 芳ヶ平」に 1 0 / 9 (土) 1 0 / 1 0 (日) で計画したいと思しますので、予定を入れておいて下さい。 草々

江工会遊歩クラブ 幹事 A 4 0 河野 一史
幹事 E 4 7 千代延 武

第13回 江工関東遊歩クラブ

自然に吸込まれた高原湿原

平成23年6月4・5日

